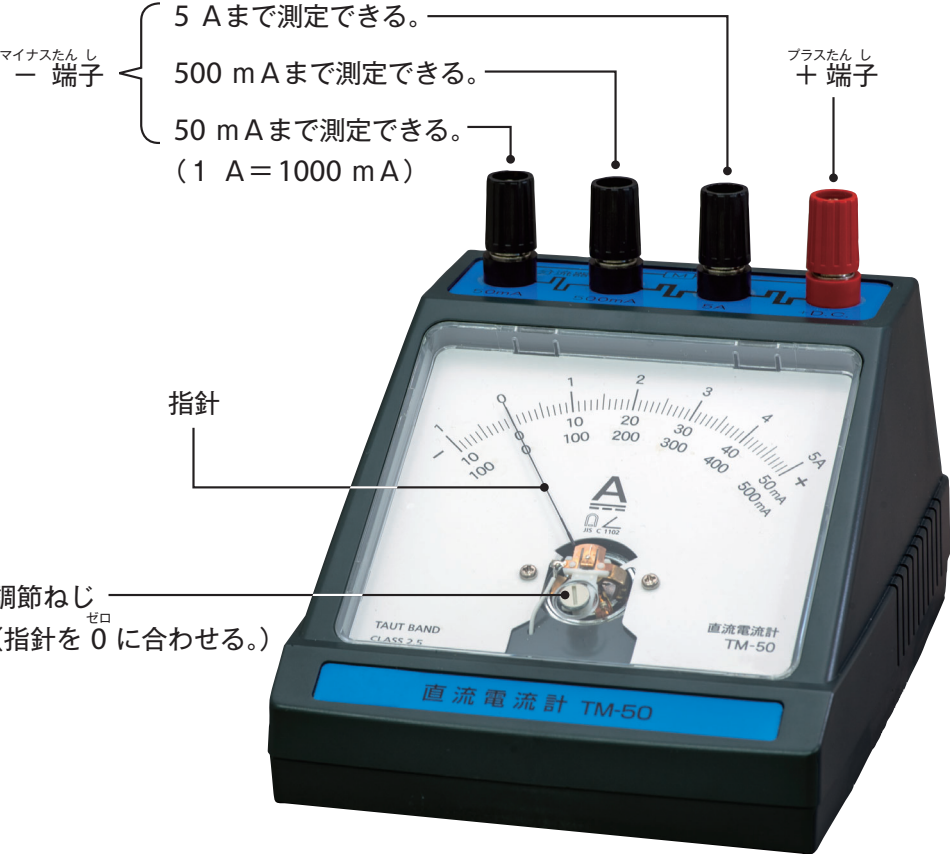
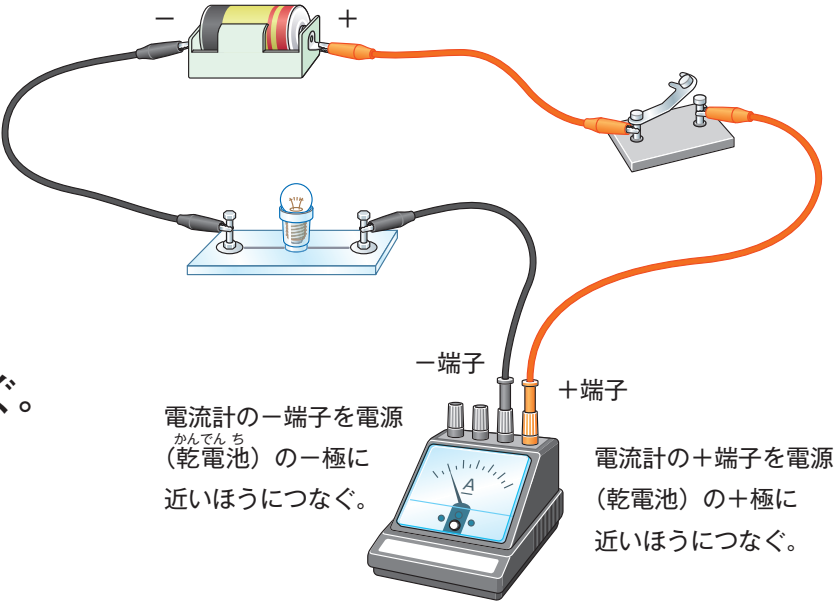


電流計の使い方



1 電流計の+端子と三つの-端子のうちの一つに、それぞれ導線をつなぐ。

電流の値がわからないときは、まず、5 Aの端子につなぐ。
値が予想できるときは、初めから適切な端子につないでもよい。



2 測定しようとする部分に、電流計を直列につなぐ。

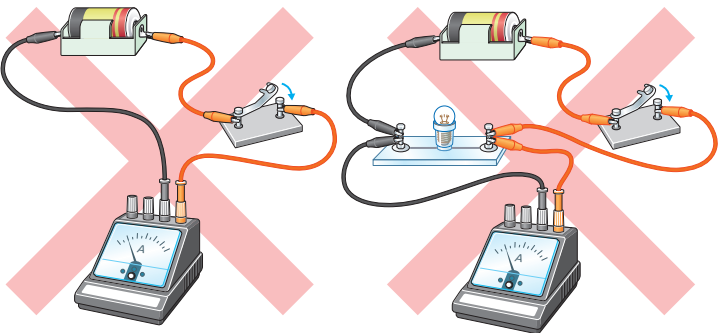
電流を測定するには、測定したい部分を、電流計に置き換えるようにつなぐ。

3 つなぎ方が正しいことを確かめてからスイッチを入れ、指針の示す値を読み取る。

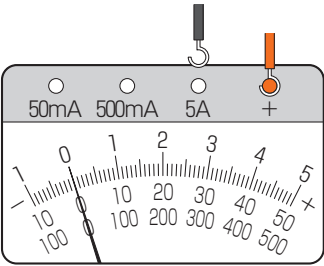
指針の示す値を読み取るときは、目盛りに注意する。例えば、5 Aの-端子につないでいるときは、最大の値が5 Aとなる上の目盛りで値を読み取る。同様に、500 mA、50 mAの-端子につないでいるときは、最大の値が500 mA、50 mAとなる目盛りで値を読み取る。



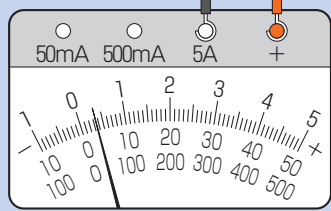
電流計を電源に直接つないだり、回路に並列につないだりしてはいけません。



- ・指針が振り切れた状態にならないように注意する。指針が振り切れるときは、大きい値の-端子につなぎ替える。
- ・指針が反対向きに振れるときは、+端子と-端子を入れ替える。

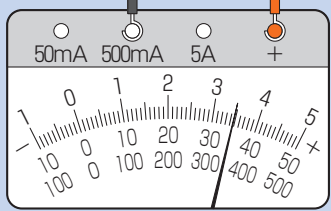


まず5 Aの-端子につなぎ、値を読み取る。

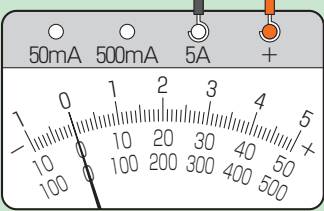


0.5 A以下

500 mAの-端子につなぎ替えて、値を読み取る。

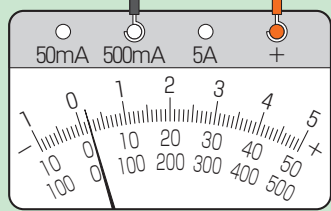


348 mA



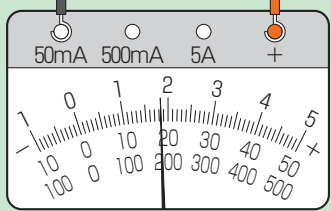
指針がほとんど振れない。

500 mAの-端子につなぎ替えて、値を読み取る。



50 mA以下

50 mAの-端子につなぎ替えて、値を読み取る。



18.3 mA